

「地方創生カレッジ in 岐阜県飛騨市」 のまとめ

1. テーマ

関係人口と育む"まちの変化"～飛騨市で見つける共創のカタチ～

2. 現状と問題点

- ・全国各地で人口減少と高齢化による担い手不足など、様々な社会課題が生じている。
- ・飛騨市は、高齢化率が40%を超え、全国の倍のスピードで人口が減少している“人口減少先進地”である。

3. 課題解決に向けたポイント

- ・関係人口の創出には「人口を減らさないのではなく地域にかかわる人(ファン)を増やす」「地域にとって嬉しい関係人口とは何か」という発想転換が必要である。
- ・地域の「困りごと」を魅力的な関わりのコンテンツへと転換する発想や、限られた予算・時間の中で既存の動きや多様なリソースを活かすことが重要。
- ・「単なる人手集めでなく質の高い出会い」を重視し、「うれしい・楽しい・面白い」を追求する。

4. 参加者の学び・気づき

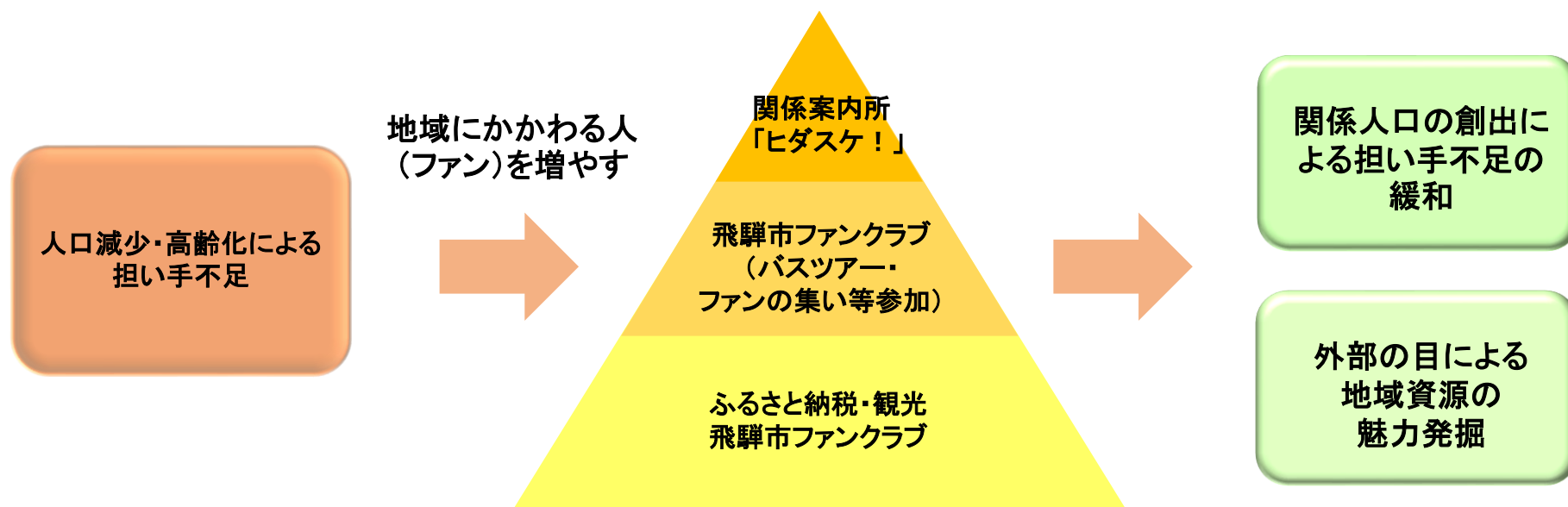
- ・ヒダスケによる関係人口づくりの全体像をしる中で、関係者の方々の楽しみながら、実践する姿に共感した。
- ・今後、本市が取り組むための参考となるが多かった。
- ・地域の困り事を、うれしい、楽しい、面白いと思っていただけけるよう、設計する点が心に残った。
自分でできなければ、地域の面白い方から面白い方に繋いでいくことも目から鱗だった。
- ・現場で走りながら考えることや実態を大事にした政策を考えていきたいと思う。
- ・関係人口を創ろうとするのではなく、地域の困り事からスタートする(手段としての関係人口)視点は大変勉強になった。
現在に至るまでの紆余曲折(もちろんもっとたくさんあるのだと思いますが)を具体的に伺うことができ、
どんなハードルがありそうかイメージができたのは大変良かった。
- ・市長の真似しないで真似をする。という言葉が大事。
関係人口の施策が目的ではなく、どんな地域課題をどのように解決したいかを考えさせられた。

「地方創生カレッジ in 岐阜県飛騨市」のまとめ

5. 成果スキーム図

【現状・地域課題】

- ・全国各地で人口減少に起因した様々な社会課題が生じており、こうした社会課題を解決する手段の一つとして関係人口の創出が挙げられる。
- ・飛騨市は深刻な人口減少と高齢化が進む“人口減少先進地”である。



【全体の成果】

- ・地域の困りごとを「うれしい、楽しい、面白い」と思っただけのような仕組みづくりが大切である。
- ・移住にこだわらず、「ファンを増やす」という発想転換が必要である。
- ・先進事例と同じ取り組みを真似するのではなく、その地域に合ったやり方を模索することが成功の秘訣。